



夏だ！ 焼尻島でキャンプだ！



公民館主催の子ども自然教室は、4年生から6年生を対象に、土曜・日曜日を利用して自然体験をはじめさまざまな体験活動を行います。今年度の4回目は、7月25日〜26日、焼尻島でキャンプ体験が行われ、自然教室のメンバーに加え天売島のお友だちも参加し、総勢44名の元気いっぱいの子どもたちが焼尻島の大自然を満喫しました。



羽幌港出航時にフェリーデッキで

いざ！焼尻島へ

25日、家族の方から見送られフェリーに乗って焼尻島への旅がはじまりました。この日は波が高く夏ではめつたにない程の時化。出航から30分は揺れる船にはしゃいでいた子どもたちでしたが、時間が経つにつれ・・・ようやく青々とした島が見えフェリーが汽笛を鳴らし焼尻島に到着。



ようやく焼尻島に到着

天売の子どもたちと合流。自己紹介をしてすぐに仲良くなりました。



綺麗に咲くアジサイをバックに

長い長い一時間の船旅となりました。港で天売の子どもたちを待つ間は、一応に疲れ切った様子でこれからのキャンプが心配になるくらいでした。けれど、焼尻のおいしい空気のおかげかすぐに体力が回復。焼尻めん羊牧場まで綺麗に咲くアジサイや大海原など景色を見ながら歩きました。

子羊にミルクをあげたり、触ったり。大井牧場長から毛刈りしたお腹を触って「らんとやわれ、触ってみると、とっても温かく、体温は40位あるそうです。また、牧場長から「めん羊は二つしか乳がないから双子までしか育てることができない。三つ子や四つ子が産まれた場合は粉ミルクで人工保育をすることに。」など、めん羊に関する貴重なお話を聞くことができたほか、子どもたちからもめん羊についての質問をしまし

大井牧場長への質問タイム 焼尻めん羊について、子どもたちから質問しました。(一部掲載)

- ？ 餌は何を食べて量はどのくらい？
→ 焼尻産の牧草と配合飼料を与えています。一日に食べる量は、親羊が約3kgで子羊が約1kg。牧草ロールは、年間になると1頭2ロールで、全体で1,000ロール使用します。
- ？ どこに出荷されているの？
→ 種畜用には遠方では四国。そのほか秋田など全国に出荷しています。また、肉用には、町内をはじめ沖縄や神戸にも出荷しています。
- ？ 何がきっかけでこの仕事をしているの？
→ こういう仕事に就きたくて専門学校に行きました。この仕事は50年になる。好きな職業はずっと続けていける。みんなも好きなものを見つける努力をしてほしい。



こうして毛刈りされているんだーと関心

ミルクあげに挑戦！



白浜キャンプ場到着

到着後は、昼食を食べお腹ごしらえをして、今日の寝床のテントを設営しました。強い風が吹きつける中のテント張りで、悪戦苦闘しながら子どもたちは自分たちのテントは飛ばされまいと協力して組み立てました。テント設営の後には、楽しみにしていた磯遊び。ライフジャケットを装着して、



テント設営に夕食作りで大忙し

泳いだり、箱メガネで海底を覗いて貝を拾って遊びました。

夕食作り

夕食には、キャンプ定番のカレーライス。女性陣がタマネギ、ニンジン、ジャガイモを切り、男性陣は、お米とぎと翌朝の朝食の下準備をしました。大きな鍋で作ったカレーは格別なおいしさに出来上がり、おかわりもしてきれいに食べました。

楽しい時間もあっという間

朝は6時に起床。大自然をバックにラジオ体操をしました。朝食には、ホットドックとチキンラーメン。なんとホットドックを5個も食べるフードファイターも現れました(笑)。

最後にオンコ林を散策しながら港へ移動し、楽しい時間があっという間に過ぎました。夏休みの楽しい思い出のページになりました。



焼尻島一島まるごと宝探し！

焼尻島で宝探しイベントが行われ、たくさんのお客さんが財宝を求め挑戦しています。宝の地図を頼りに焼尻の観光名所に設けられたチェックポイントでキーワードを集め、初級からはじまり、クリアするごとに中級、上級そして極上と難易度が高まり、最後の問題をクリアする頃には焼尻島の隅々までその魅力を味わうことができるようになっていきます。(イベントは8/20まで開催しています。)

